

行ってみよう!

黒門町商店会の

楽しいイベント



4月・9月 春・秋の交通安全運動

黒門町町会

全国交通安全運動の期間に合わせて、黒門町町会有志と警察署が協力して行います。子どもが安全に通学路の確保など、付近の交通整理を行います。

5月 下谷箭弓稲荷神社例大祭

下谷箭弓稲荷

徳川家光の時代、石川屋敷内「银杏稲荷」から続くといわれる下谷箭弓稲荷の例大祭で、神社内でご祈祷と玉串奉奠が行われます。家内安全・商売繁盛などを願い地元の方が訪れます。



五條天神社大祭

五條天神社

江戸三大天神の一つで、毎年5月25日に例大祭が行われます。3年に一度は本社神輿の渡御、それ以外の年は、里神楽奉納・町神輿の巡行・奉納弓道大会が行われます。



8月 盆踊り大会

黒門小学校

黒門小学校の校庭で行われる盆踊り大会。縁日や模擬店も出店し地元の方やお仕事帰りの方で賑わいます。盆踊りを覚えたい人向けには、小学校体育館にて事前の練習会もあります。



10月 防災訓練

黒門小学校

備蓄、震災遺構などの説明や上野消防署によるレクチャーの後、校庭で消火活動体験を行います。関東大震災から100年にあたる2023年は、「震災前後の黒門町界隈の記録」の講義も行われました。



12月 町内歳末警戒・子ども夜警

黒門町町会

火事や盗難の増える時期に安心して新年を迎えるために、夜間に拍子木を叩いて町内を回り「火の用心」と呼びかけます。2023年は子どもたちも含め総勢90名以上が参加しました。

鬼平犯科帳の舞台にもなった黒門町

日本を代表する時代小説家、池波正太郎の代表作「鬼平犯科帳」。その一編である「五月闇」は黒門町（上野1丁目）が舞台となっています。中央通り沿いの黒門児童遊園には高札型案内板が。2023年には池波正太郎生誕100年を記念して、イベントも行われました。



江戸時代の「高札」をモチーフにした看板。池波作品に縁の深い区内16カ所に設置されています。